



よしかい育子の 「しんぶん赤旗」読者だより

生活・法律相談・ご意見もお気軽にお寄せ下さい

2010. 9. 26 NO. 180

編集・発行

よしかい育子
465-7071
小川ゆうじ
466-8887
なんでも相談所
465-9939

なんでも相談の開設は
月・水・金の
午前10時～正午

無料・弁護士相談

10月8日午後18時～20時

予約が必要です

橋下知事の府営住宅つぶしに

府「財政構造改革プラン」

13万8千戸↓約7万戸に

怒

橋下府政が「財政構造改革プラン（素案）」（以下素案）で、現在約13万8千戸ある府営住宅の管理戸数を半分に減らし、今後は「民間住宅市場を活用する」として、「パウチャー制度（市場家賃と府営住宅家賃との差額補助）」の創設を国に提案することなどを打ち出しました。府の住宅政策を根本的に変質させ、公的責任を投げ捨てようとする橋下府政の動きに対して、「府営住宅削減に反対する連絡会」が結成されるなど反対運動が始まっています。

入居に数年待ち 一般世帯で26倍の競争率

今年6月の府営住宅の募集は一般世帯で273戸に対し応募者数は7112。倍率は26、1倍に上がりました。私が府営住宅の申込用紙をお届けしている方の中には、何回申し込んでも入られない方がおられ、募集戸数が少なく競争率が高いことにいつも悔しい思いをしています。

府営住宅の供給増を

知事の府営住宅つぶしは、住宅困窮者にとってきわめて理不尽な方向です。府の責任で老朽化した府営住宅は建替え、供給を増やし府民の強い要望に応えるべきです。

10年間、新規供給を凍結してきたことを棚上げ

府営住宅への入居資格者は約63万人と推定されていますが、府はこれまで「財政再建」を理由に、府営住宅の新規供給を10年にわたって凍結してきました。このことは棚に上げて、「素案」では、府営住宅に「入居できた人と出来なかつた人との受益に大きな差」がある

とし、高い抽選倍率など「受益者の偏りも著しい」などと決め付けています。

府営住宅を半減する理由として、人口減少社会を迎えて住宅ストックが過剰になり、高度成長期に集中して大量に建設された住宅（約7万3千戸）は、耐震性などの点で

「保有リスク」があると指摘。半減に向けて、応募のない府営住宅を管理戸数から削減することや、良質な住宅を市町村に移管するほか、検討が始まったばかりで実現性のめ

どもない「パウチャー制度」の導入を国に提言などとしています。

18日「田尻町における議会制民主主義を考える」つどいに12人参加
ホームページのブログでも公開しています。

9月18日（土）昼2時から4時まで、「田尻町における議会制民主主義を考える」つどいを開き、12人にご参加いただきました。参加者からは、「町民の生活は右肩下がり。所得低い人のこともっと考えて欲しい。」
「妥当な議員数は何人か、町民と議員、本音で話し合う機会が欲しい。話し合っただけでいい。」
「議員も反省を。仕事しないからへらせとっているんだ。」
「減らしたら仕事をしてるかどうか関係なしに親戚、身内の多いものが通る選挙が強まるから、減らすのには反対。」
「議員数を10人にと出てきた原因は何なのか、議員で話し合ったんですか。」など、4時ギリギリまでたくさんのご意見を聞かせていただきました。
町民の皆さんと議員、繰り返し話し合う機会を持つこと、議会の存在意義を示す活動が求められていると実感したつどいでした。なおいっそうがんばります。

27日の議会最終本会議で 来年改選の議員定数が決まります

傍聴に来て下さい

27日（月）は9月議会の最終本会議が10時から開催されます。2つの常任委員会での審議された議案、平成21年度

共産党議員団が提案する14名と、8人の議員が連名で提案する10名と、それぞれ反対、賛成討論があると予想されます。

傍聴席は、3階の議場を回った所に入り口があります。



小川・吉開

検索